



## バックアップ編

ハードディスクの故障や誤操作によるファイルの削除など、万が一の場合に備えて、データやマスタは定期的にバックアップしておきましょう。

本書では、ARCHITREND ZEROシリーズの各プログラムで、データやマスタをバックアップする手順を解説します。

1. はじめに	1
1-1 バックアップについて	1
1-2 バックアップが必要なデータ	1
1-3 バックアップに使用できる記憶媒体	3
2. ARCHITREND Manager	4
2-1 データフォルダをバックアップする	4
2-2 共通設定やマスタをバックアップする	7
2-3 テンプレートをバックアップする	8
3. ARCHITREND ZERO	9
3-1 物件データをバックアップする	9
3-2 マスタをバックアップする	12
4. 3Dカタログマスタ	14
5. Archi Master	16
6. ARCHITREND 見積	18
6-1 テンプレートやマスタをバックアップする	18
6-2 見積書データをバックアップする	20
7. ARCHITREND プレゼンデザイナー	21
8. TREND CA	22

# 1

## はじめに

### 1-1 バックアップについて

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。

ハードディスクの故障や誤操作によるファイルの削除など、万が一の場合の被害を最小限にとどめるために、データやマスタは定期的に別の媒体（HDD、CD、DVDなど）にバックアップしておきましょう。

また、PCの入れ替え時には、今まで使用していたPCのデータをバックアップして、新しいPCに移行する作業が必要になります。

本書では、各プログラムのデータやマスタをバックアップする手順を解説します。

バックアップは、お客様ご自身の管理・責任において行っていただきます。

いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねます。ご了承ください。

#### ※参考「ソフトウェア使用許諾契約書」

##### 第5条（データの保全）

- 1 本ソフトウェアの使用によって作成されたデータのバックアップ等の保全措置は、お客様の責任と負担において行うものとします。お客様または第三者がデータの破損・消失等によって受けたいかなる損害に対しても、当社らはその賠償の責めを負わないものとします。
- 2 前項の規定は、本ソフトウェアに自動バックアップの機能が付されている場合も同様に適用されるものとします。本ソフトウェアに自動バックアップの機能が付されている場合も、当社らは、当該自動バックアップ機能が過誤なく適切に稼働することを含む一切について、何らの保証も致しません。

### 1-2 バックアップが必要なデータ

ARCHITREND ZEROシリーズの各プログラムで、バックアップが必要なデータは次のとおりです。

※ P-style、プレゼンデザイナー、リアルウォーカー、省エネナビ、TREND CAなどのデータは、保存時のフォルダが初期状態のままであれば、ZERO物件データの一部としてバックアップされます。

保存時にフォルダを変更している場合は、これらのデータもエクスプローラ等でコピーする必要があります。

プログラム名	対象データ	標準フォルダ	備考	解説ページ	
				バックアップ	リストア
ARCHITREND Manager	お客様データ	Data	Managerで物件管理の場合	P.4	P.23
	共通設定	IniFiles		P.7	P.23
	組織マスタ	Master¥Trader		P.7	P.23
	文書テンプレート	Template		P.8	P.23
	対応履歴テンプレート	ActionTemplate		P.8	P.23
ARCHITREND ZERO	物件データ	Data	ZEROで物件管理の場合	P.9	P.25
	マスタ	ATZEROMaster		P.12	P.27
3Dカタログマスタ	外装仕上・内装仕上／住設・家具／ドア・サッシ	Master		P.14	P.29
Archi Master	素材／部品／建具	Master		P.16	P.30
ARCHITREND 見積	テンプレート	Template		P.18	P.31
	マスタ	Master		P.18	P.31
	設定	Others		P.18	P.31
	見積書データ	Data	ZEROで物件管理の場合	P.20	P.31

ARCHITREND プレゼン デザイナー	ユーザーテンプレート	UserTemplate		P.21	P.32
	QRコード お気に入り	UserQR		P.21	P.32
	定型文 お気に入り	UserText		P.21	P.32
TREND CA	テンプレート	Template		P.22	P.32
	共通設定	Common		P.22	P.32
	マスタ	Master		P.22	P.32

## 補足 引越アシスタント

マスタ・データ移行ツールの「ARCHITREND 引越アシスタント」を使用すると、ZEROシリーズの環境情報（マスタ・データ）を、別のPCにまとめて移行することができます。PCの入れ替え時に便利です。

引越アシスタントは、FCアカウントからダウンロードできます。詳しくは、ツールに添付のご利用ガイドを参照してください。

### 【FCアカウント】

1 ログイン

2 プログラムの更新

3 マスタテンプレートの更新および、製品ごとの修正プログラム

4 プログラム名

5 ARCHITREND ZERO シリーズ

修正履歴

ARCHITREND\_ZERO\_Ver8.x プログラム リビジョンアップ情報 2022年03月修正

ARCHITREND\_森エネナビ\_Ver4.x プログラム リビジョンアップ情報 2021年12月修正

マスタ・データ移行ツール

ARCHITREND引越アシスタント ATHikkoshi\_202203.exe

【ご利用】

このファイルはコンピュータの入替をされたお客様がARCHITRENDシリーズのマスタ・データを「旧コンピュータ」から新コンピュータへ移行するためのツールです。

- ダウンロード後自己実行を行い自動的にエクスプローラーが開きます。
- 「ご利用ガイド」を参照してデータ・マスタの移行を行います。

【引越アシスタントについて】

- このツールでプログラムの移行はできません。
- 終業・ディスク容量には余裕を持って作業を行ってください。
- その他の注意事項は「ご利用ガイド」を参照してください。

## 1-3 バックアップに使用できる記憶媒体

弊社プログラムでバックアップ先として使用できる記憶媒体は次のとおりです。

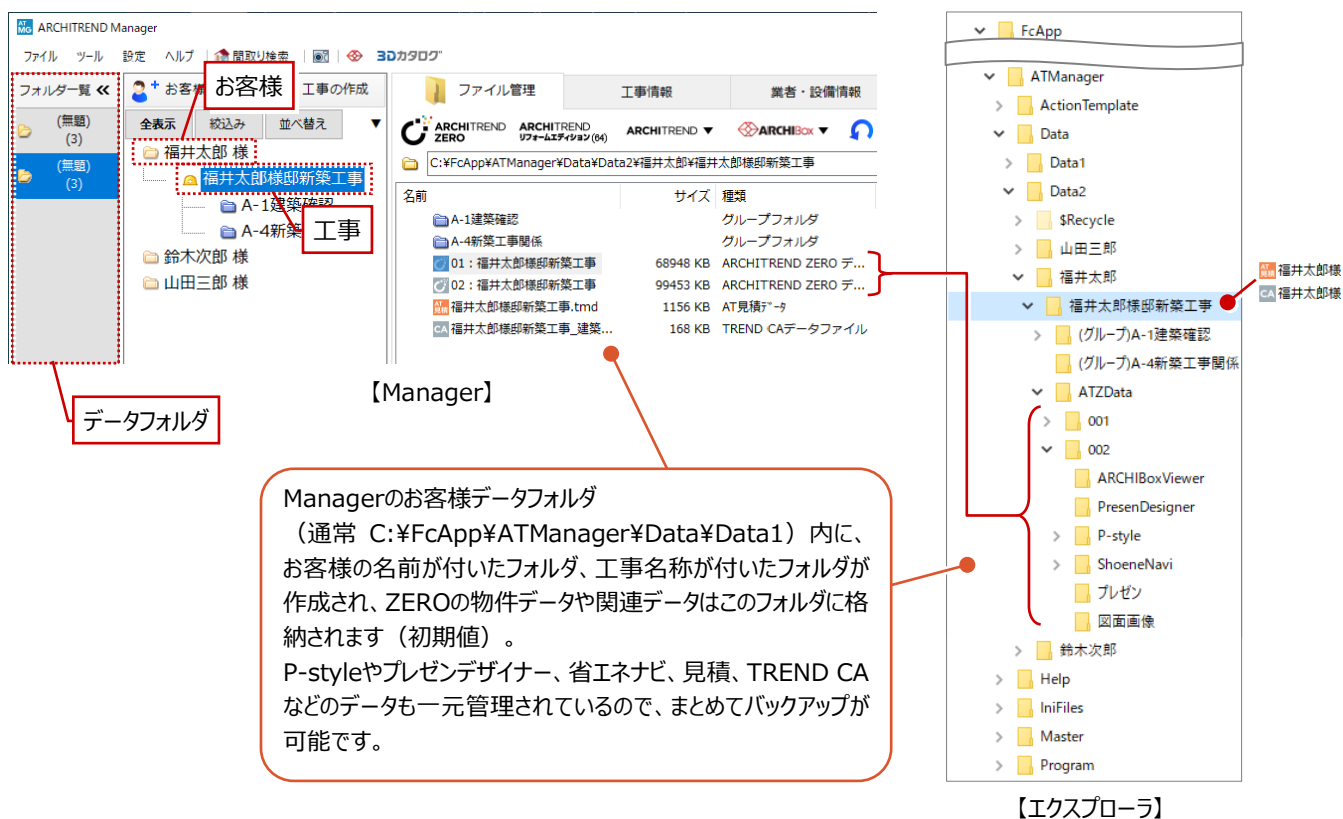
記憶媒体のタイプ		プログラムのインストール先として	データの保存先として	バックアップ先として	特記事項	
内蔵タイプ	内蔵型HDD		◎	◎	◎	推奨します。
	内蔵型SSD		◎	◎	◎	推奨します。
外付タイプ	外付型HDD (USB接続)		○	○	◎	容易に取り外しできることから、常時アクセスするような用途にはお勧めできません。バックアップ先としての断続的な利用でのみ推奨します。ご使用に際しては、いずれも常時接続での利用を前提とします。
	ポータブル型HDD / USBメモリ		×	×	×	
LAN接続タイプ (NAS)	OSがWindowsストレージサーバー		×	○	◎	<p>【使用可能OS】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows Storage Server IoT 2019</li> <li>Windows Storage Server 2016</li> <li>Windows Storage Server 2012/2012R2</li> </ul> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>機種やLAN環境により、動作スピードが著しく低下する場合があります。</li> <li>通信の切断や遅延が発生しないようご注意ください。</li> <li>機種により取り扱えるファイルサイズ、ファイル数等に制限がある場合がありますのでご注意ください。</li> <li>容易に取り外しできることから、常時アクセスするような用途にはお勧めできません。一時的なファイル共有先やバックアップ先としての断続的な利用でのみ推奨します。</li> </ul>
	OSがWindows以外 (Linux等)		×	×	×	<p>OSがWindows以外 (Linux等) は、動作保証しておりません。OSがWindowsストレージサーバーの導入をご検討ください。</p> <p>※ストレージの搭載OSに関しましては、製品のHP等でご確認ください。</p>
オンラインストレージ	クラウド上の記憶領域		×	×	×	<p>オンラインストレージとPCで関連づけられたドライブやフォルダを、データ保管場所にしないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークの切断等によりデータの破損や消去が発生する恐れがあります。</li> <li>オンラインストレージからのダウンロード等により、ファイル更新日付が変更されるものがあります。写真などは改ざんにみなされる場合があります。</li> </ul>

※ 推奨、使用可の場合でも、ディスクフォーマットは「NTFS」に限ります。

※ いずれの場合も、お客様ご自身の責任のもとでご使用ください。

◎ (推奨)	: 推奨します。
○ (使用可)	: 使用可能であることを確認済みです。
△ (非推奨)	: 推奨できません。
× (使用不可)	: 使用できません。

ARCHITREND ManagerでARCHITREND ZEROの物件データを管理している場合は、お客様の工事フォルダ内に関連するデータがすべて格納されているため、一度にバックアップすることができます。



## 2-1 データフォルダをバックアップする

ここでは、Managerのデータフォルダ単位でバックアップする方法を解説します。

⇒ お客様ごとにバックアップする方法については、P.6を参照してください。

フォルダ単位で  
バックアップ

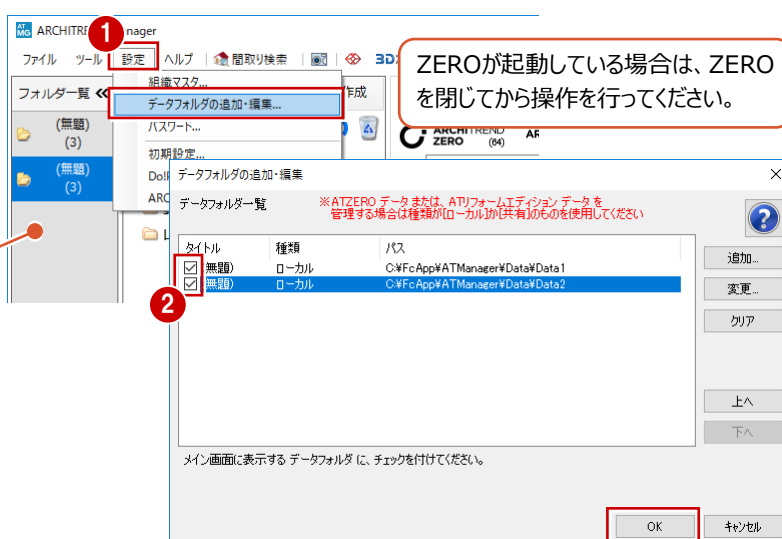
### データフォルダを確認する

- 「設定」メニューから「データフォルダの追加・編集」を選びます。

「フォルダ一覧」で右クリックして「データフォルダの追加・編集」を選んで同様です。

右クリック

- バックアップしたいデータフォルダすべてにチェックを付けて、「OK」をクリックします。



## データフォルダをバックアップする

① 「ツール」メニューから「メンテナンス」を選びます。

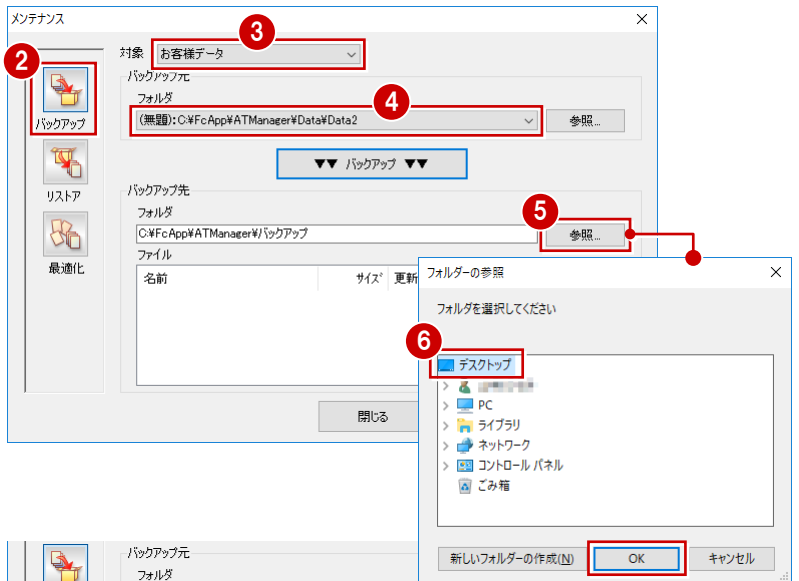


② 「バックアップ」が選ばれていることを確認します。

③ 「対象」が「お客様データ」になっていることを確認します。

④ バックアップするデータフォルダを選びます。

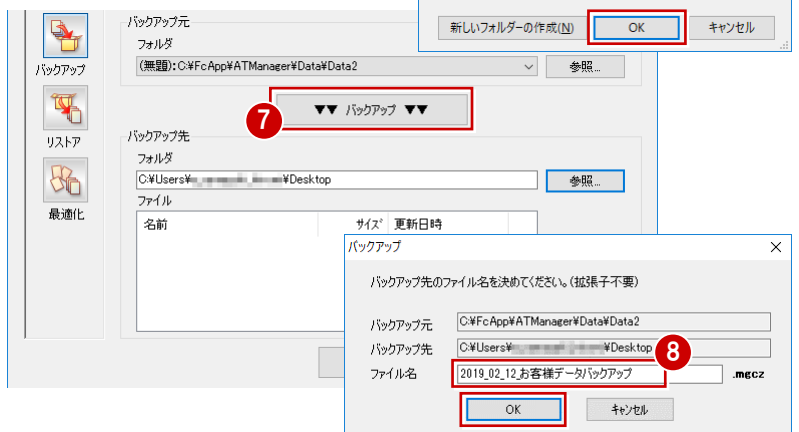
⑤⑥ 「参照」をクリックして、バックアップファイルを保存する場所を指定します。  
ここでは、「デスクトップ」を選んで「OK」をクリックします。



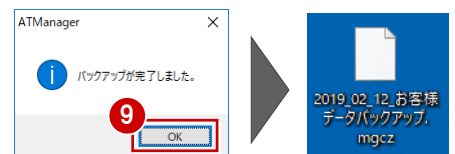
⑦ 「▼▼ バックアップ ▼▼」をクリックします。

⑧ バックアップファイルの名前を確認して、「OK」をクリックします。  
処理が始まります。

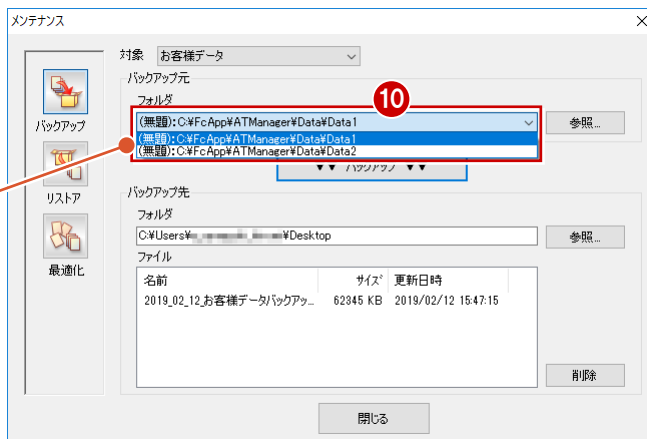
※ 物件数によって処理時間が異なります。



⑨ 完了の確認画面で「OK」をクリックします。  
デスクトップにバックアップファイル (.mgcz) が作成されています。



⑩ 別のデータフォルダを選択し、同様な手順でバックアップを行います。



⑪ 作成されたバックアップファイル (.mgcz) を、別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存します。

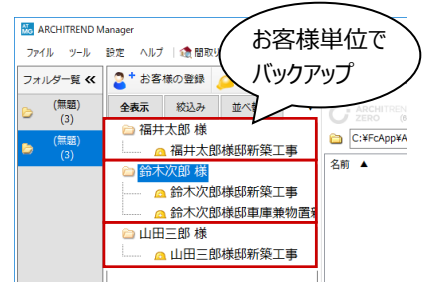


## 補足 お客様ごとにデータをバックアップするには

Managerのデータをお客様ごとにバックアップすることもできます。

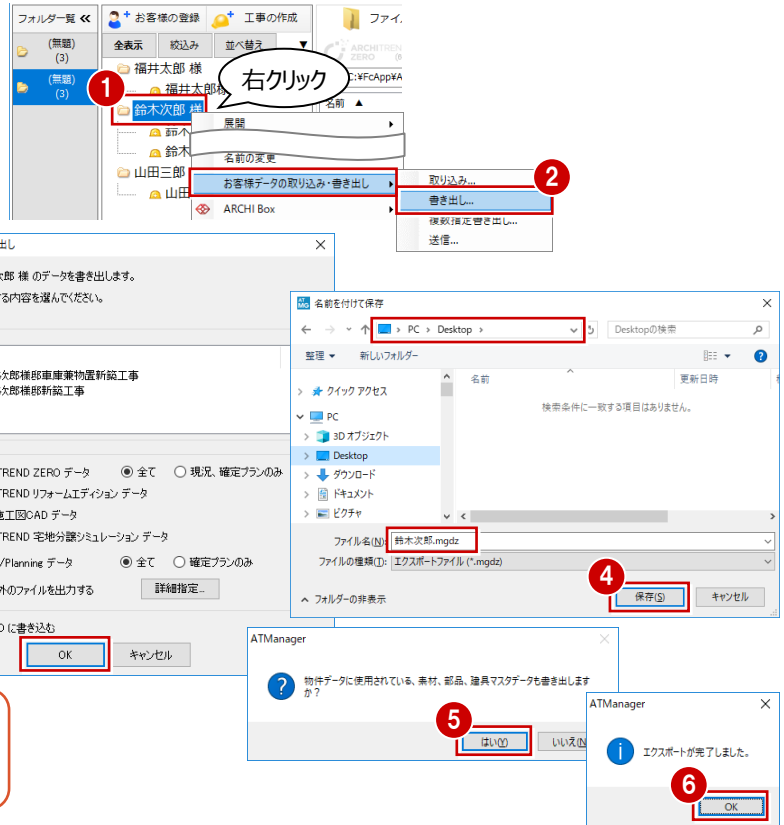
お客様名がそのままファイル名となってファイル (.mgdz) に書き出されるため、管理しやすくなります。

作成されたファイルを、別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存してください。



### 選択したお客様データを書き出す場合

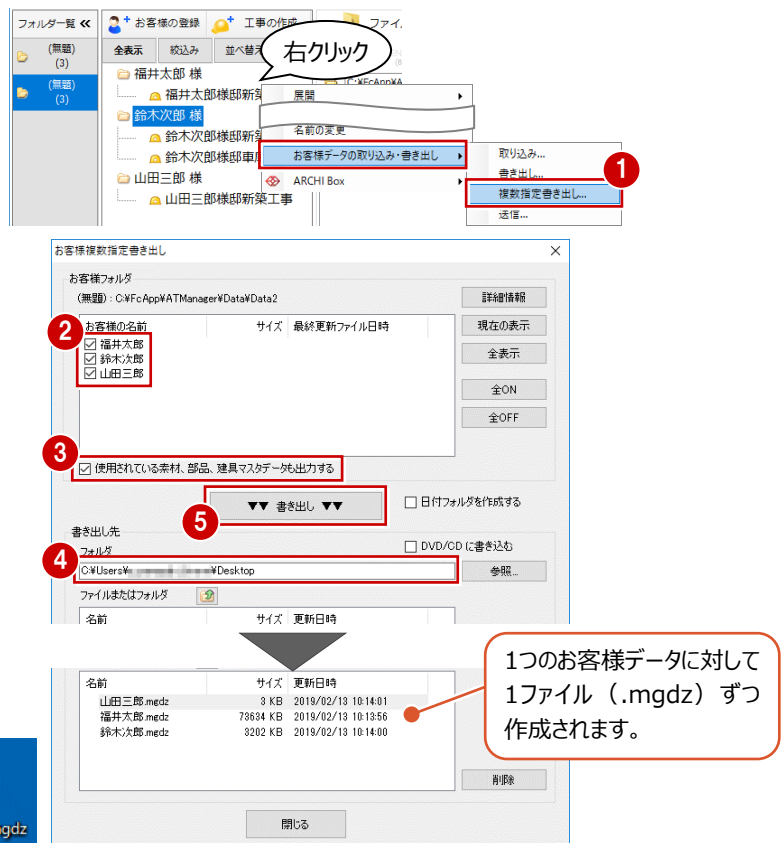
- 1 一覧からバックアップするお客様を選びます。
- 2 右クリックして、「お客様データの取り込み・書き出し」の「書き出し」を選びます。
- 3 出力する工事にチェックを付けて、「OK」をクリックします。
- 4 出力先とファイル名を確認して、「保存」をクリックします。
- 5 ZERO データで使用されている素材・部品・建具マスタのデータを出力するかどうかの確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。⇒ P.10 参照
- 6 完了の確認画面で「OK」をクリックします。



ONにすると、出力先指定のダイアログは表示されずに既定のフォルダに書き出されます。  
例) C:\FcApp\ATManager\CD\_WORK\

### 複数のお客様データを書き出す場合

- 1 右クリックして、「お客様データの取り込み・書き出し」の「複数指定書き出し」を選びます。
- 2 出力するお客様にチェックを付けます。
- 3 「使用されている素材、部品、建具マスタデータも出力する」を ON にします。⇒ P.10 参照
- 4 出力先のフォルダを設定します。
- 5 「▼▼ 書き出し ▼▼」をクリックします。処理が始まります。



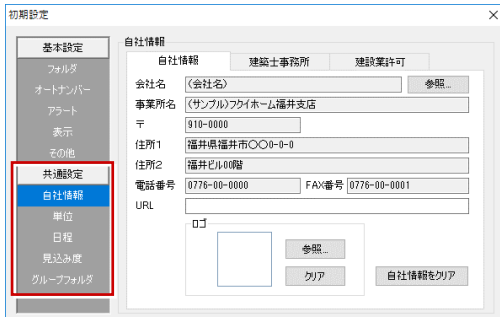
1つのお客様データに対して1ファイル (.mgdz) ずつ作成されます。



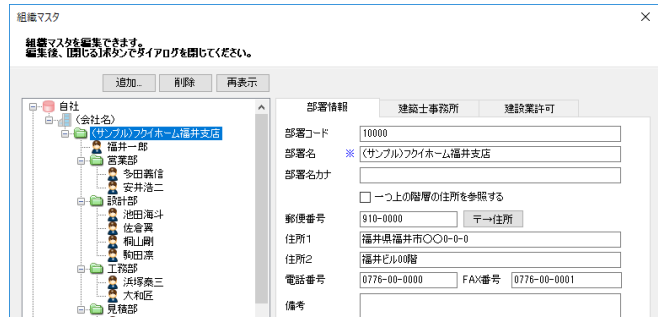


## 2-2 共通設定やマスタをバックアップする

Managerで使用している共通設定や組織マスタをバックアップします。

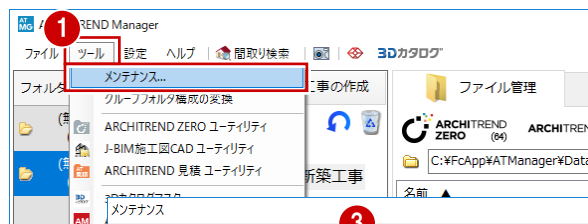


【共通設定】



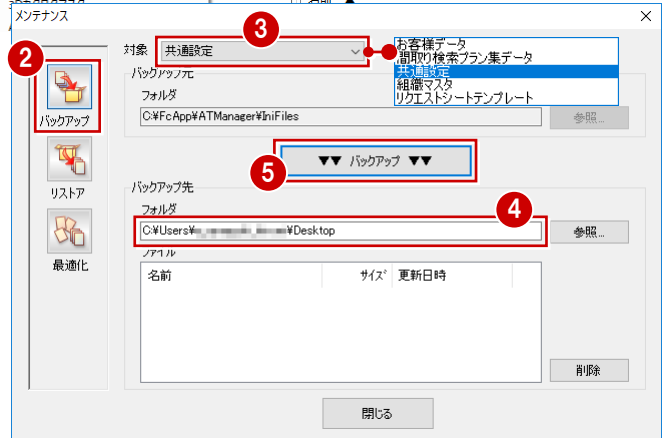
【組織マスタ】

① 「ツール」メニューから「メンテナンス」を選びます。



② 「バックアップ」が選ばれていることを確認します。

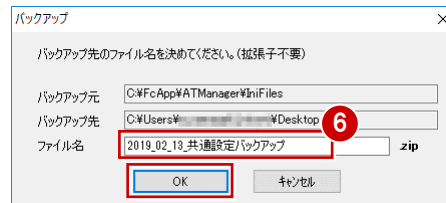
③ 「対象」を「共通設定」に変更します。



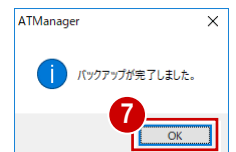
④ バックアップファイルを保存する場所（ここでは「デスクトップ」）を指定します。

⑤ 「▼▼ バックアップ ▼▼」をクリックします。

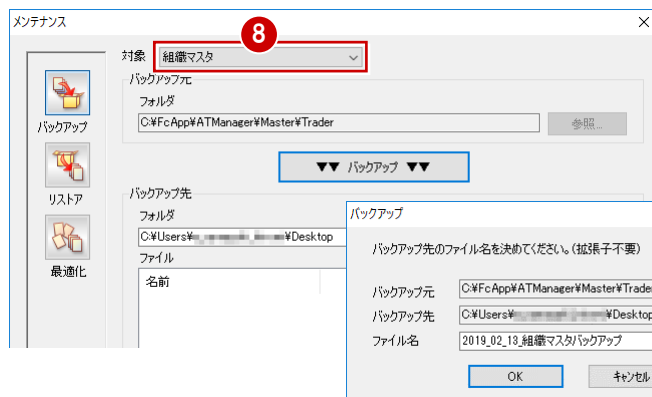
⑥ バックアップファイルの名前を確認して、「OK」をクリックします。  
処理が始まります。



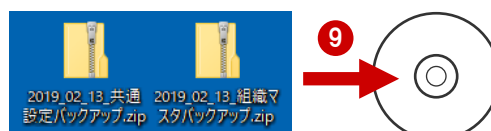
⑦ 完了の確認画面で「OK」をクリックします。  
デスクトップにバックアップファイル（.zip）が作成されています。



⑧ 「対象」を「組織マスタ」に変更して、同様な手順で組織マスタをバックアップします。

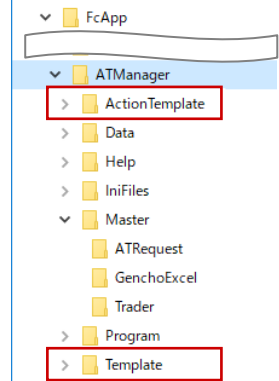


⑨ 作成されたバックアップファイル（.zip）を、別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存します。

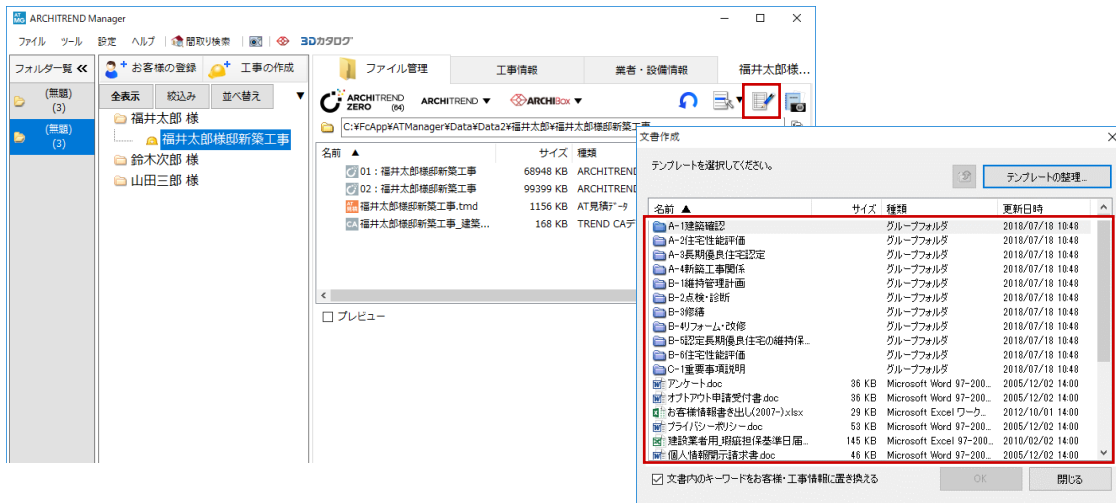


## 2-3 テンプレートをバックアップする

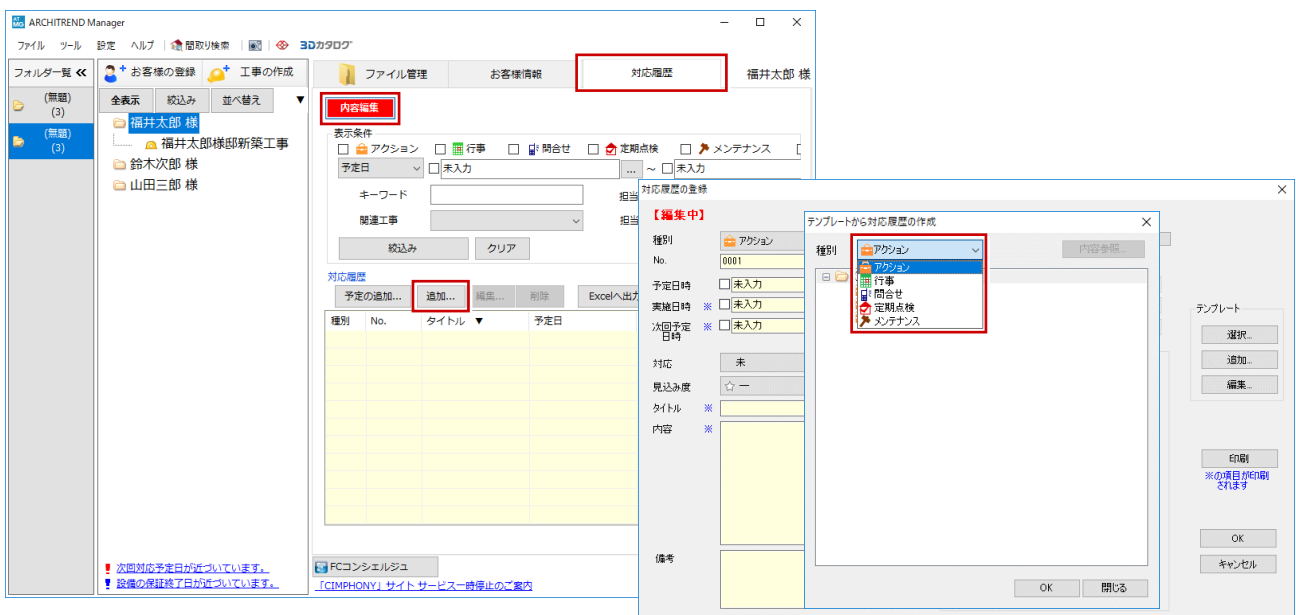
Managerで使用している文書テンプレートや対応履歴テンプレートをバックアップする場合は、バックアップ用のツールが用意されていないので、エクスプローラ等でコピーしてください。



### 文書テンプレート (通常 C:\FcApp\ATManager\Template)

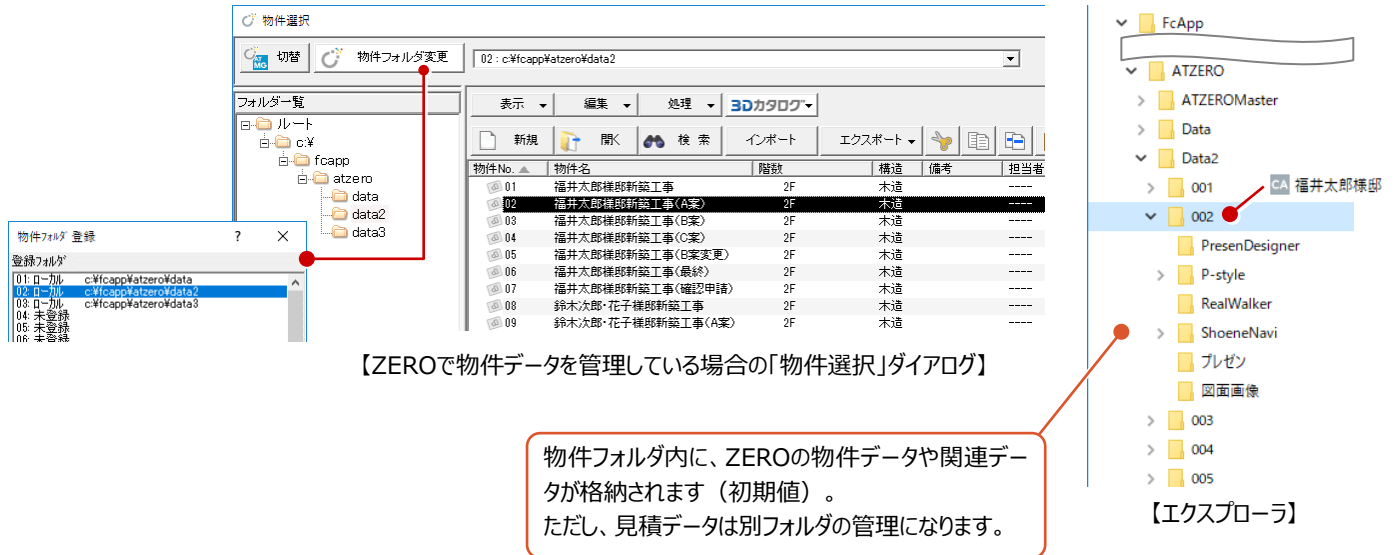


### 対応履歴テンプレート (通常 C:\FcApp\ATManager\ActionTemplate)



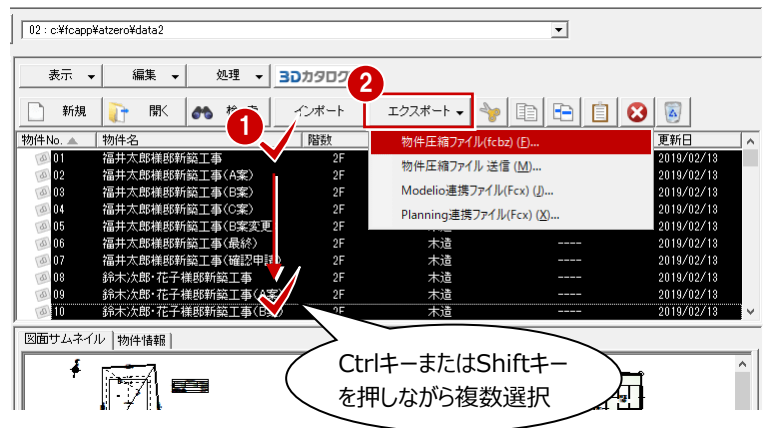
## 3-1 物件データをバックアップする

ARCHITREND ZEROで物件データを管理している場合のデータバックアップについて解説します。

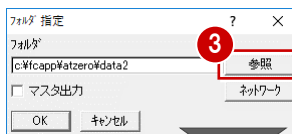


① 「物件選択」ダイアログでバックアップしたい物件を選択します。  
CtrlキーまたはShiftキーを押しながらクリックすると複数選択できます。

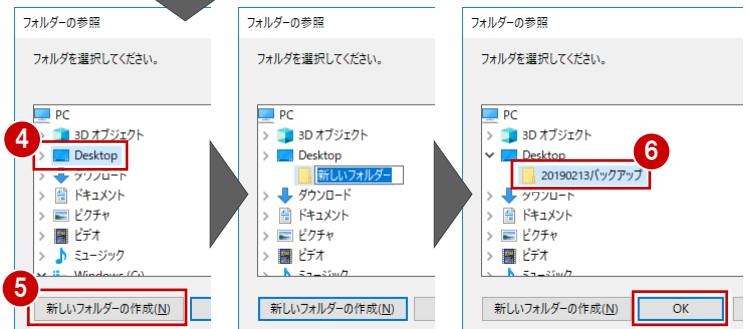
② 「エクスポート」メニューから「物件圧縮ファイル (fcbz)」を選びます。



③ 「参照」をクリックして、バックアップファイルを保存する場所を指定します。  
ここでは、わかりやすいように「デスクトップ」に新しいフォルダを作成してみましょう。



④⑤ 「フォルダの参照」ダイアログで「デスクトップ (Desktop)」を選び、「新しいフォルダの作成」をクリックします。



⑥ 「Desktop」の下層に新規フォルダが作成されるので、フォルダ名をわかりやすい名称に変更して、「OK」をクリックします。

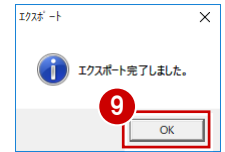
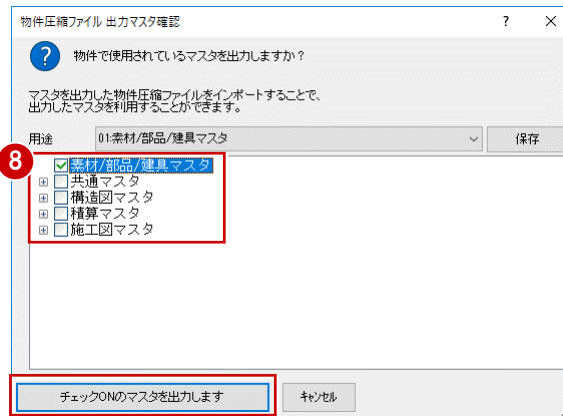
⑦ 「マスタ出力」をONにして、「OK」をクリックします。



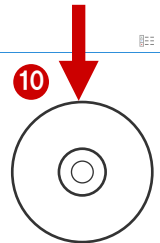
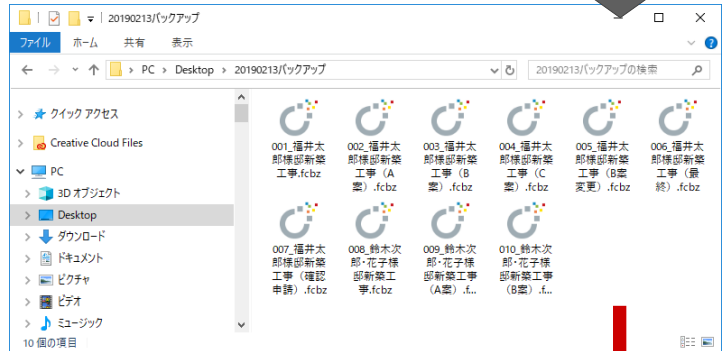
8 物件で使用されているマスタのうち、出力するマスタにチェックを付けて、「チェック ON のマスタを出力します」をクリックします。  
処理が始まります。

9 完了の確認画面で「OK」をクリックします。  
指定したフォルダに、物件名と同じ名称のバックアップファイル（.fcbz）が作成されます。

※ 8・9 のダイアログは、選択した物件データの数だけ表示されます。



10 作成されたバックアップファイル（.fcbz）を、別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存します。



### マスタデータの出力について

マスタデータも出力するとファイルサイズは大きくなりますが、マスタも同時に出力することをお勧めします。ファイルを受け取る側に同じマスタが存在しない場合、受け取り側で属性変更やパースモニタの再作成を行うとエラーが表示されてしまうためです。  
なお、マスタ込みのファイルをインポートする際は、取り込むマスタを選択できます。

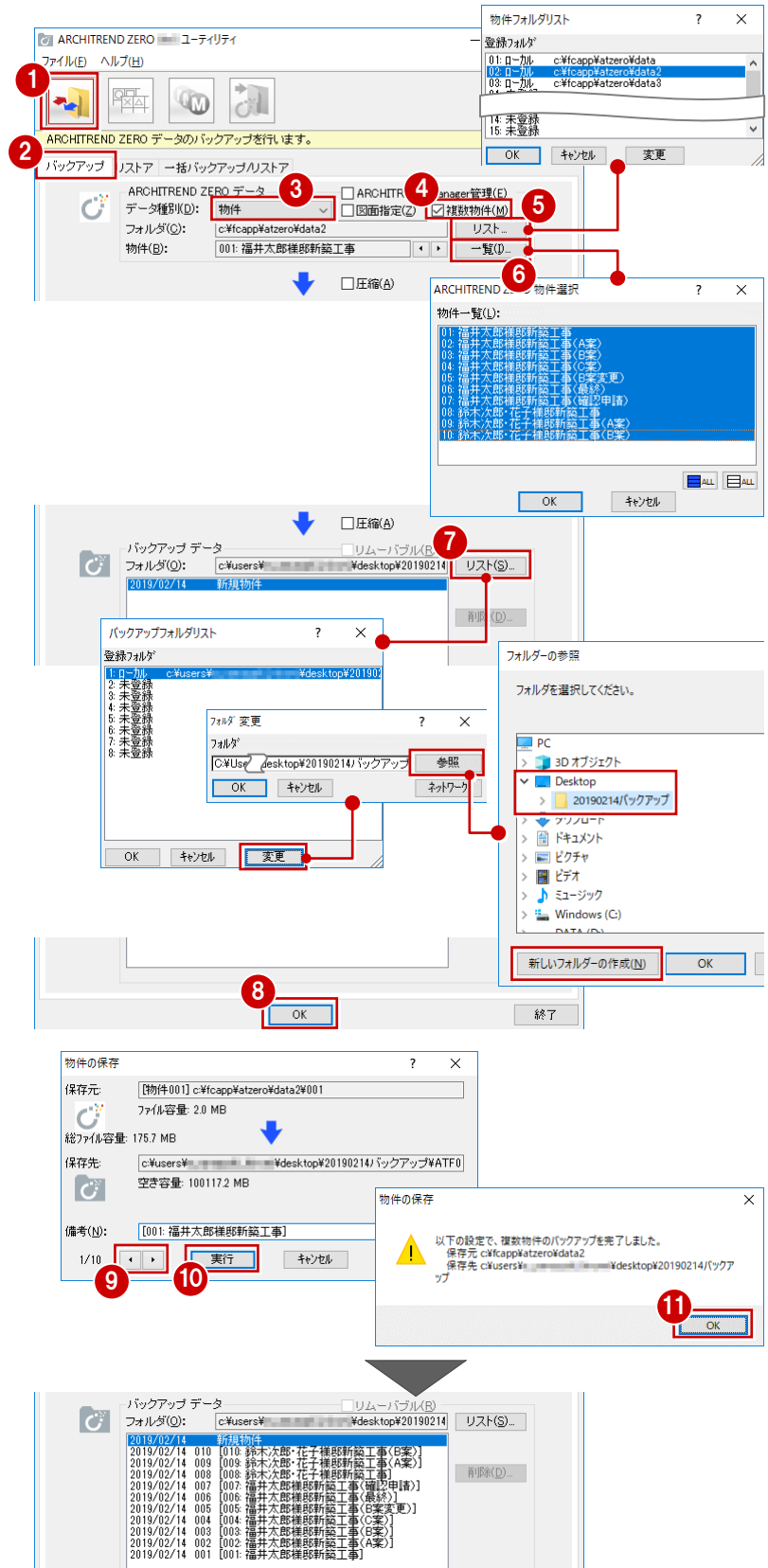
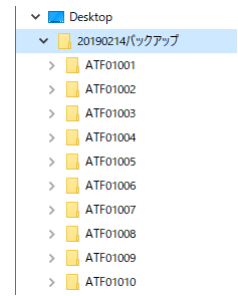
## 補足 ユーティリティで物件データをバックアップするには

物件データのバックアップは、ZEROのユーティリティでも行うことができます。

ユーティリティを使用した場合、指定した保存先に作成される「¥ATF01??」というフォルダに物件データが保存されます。エクスプローラ等でこのフォルダ名を変更すると、リストアできなくなりますのでご注意ください。

保存先のフォルダを、別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存してください。

- 1 2 ZEROのユーティリティを起動し、「バックアップ/リストア」の「バックアップ」タブが開いていることを確認します。
- 3 「データ種別」が「物件」になっていることを確認します。
- 4 「複数物件」にチェックを付けます。
- 5 「リスト」をクリックして、物件データフォルダを選びます。
- 6 「一覧」をクリックして、バックアップする物件を選択します（複数選択可能）。
- 7 「バックアップデータ」の「リスト」をクリックして、バックアップ先のフォルダを指定します。  
ここでは、「デスクトップ(Desktop)」に新しいフォルダを作成し、フォルダ名をわかりやすい名称に変更しています。⇒ 詳しい手順は P.9 参照
- 8 ユーティリティの画面下部にある「OK」をクリックします。
- 9 「◀」「▶」をクリックして、物件を確認します。
- 10 「実行」をクリックすると、処理が始まります。
- 11 完了の確認画面で「OK」をクリックします。



## 3-2 マスタをバックアップする

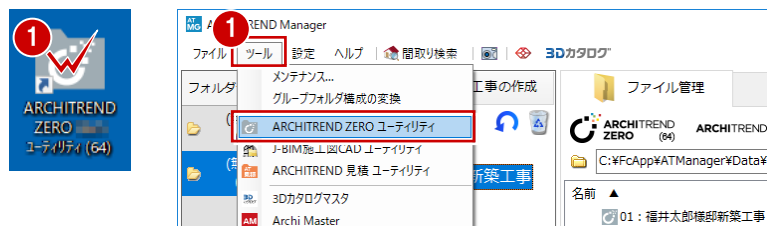
ZEROの物件マスタ、部屋マスタなどの各種マスタをバックアップします。

ここでは、すべてのマスタをバックアップする操作を解説します。



- 1 デスクトップのアイコンをダブルクリック、または、Manager の「ツール」メニューから、ZERO のユーティリティを起動します。

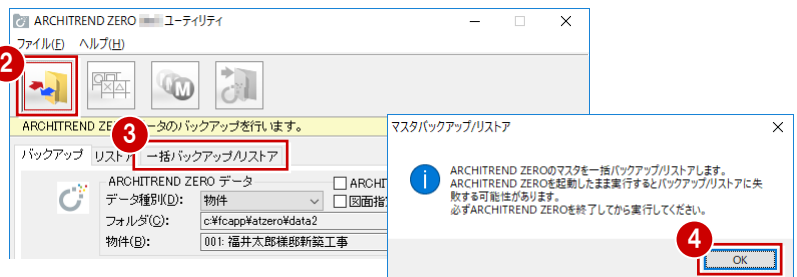
※ スタートボタンから「FukuiComputerApplication」の「ARCHITREND ZERO ユーティリティ」を選んで起動することもできます。



ユーティリティは、ZEROと同時に起動できません。  
ZEROを終了してからユーティリティを起動してください。

- 2,3 「バックアップ／リストア」の「一括バックアップ／リストア」タブをクリックします。

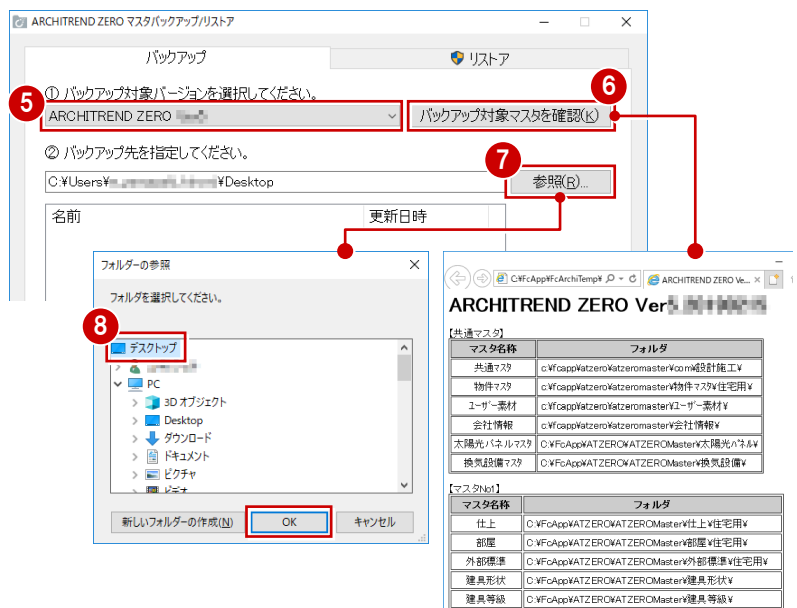
- 4 確認画面で「OK」をクリックします。



- 5 バックアップ対象のバージョンを選びます。

- 6 「バックアップ対象マスタを確認」をクリックして、対象となるマスタと参照フォルダを確認します。

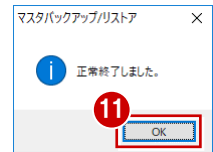
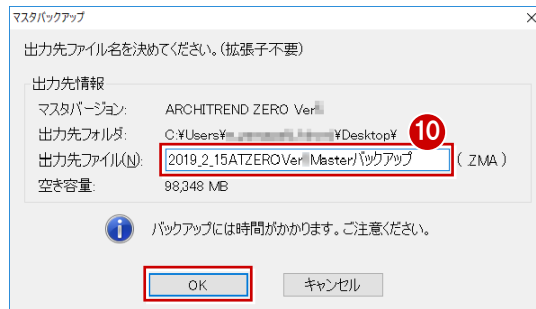
- 7,8 「参照」をクリックして、バックアップファイルを保存する場所を指定します。  
ここでは、「デスクトップ」を選んで「OK」をクリックします。



- 9 「バックアップを実行」をクリックします。



10 バックアップファイルの名前を確認して、「OK」をクリックします。  
処理が始まります。



11 完了の確認画面で「OK」をクリックします。  
デスクトップにバックアップファイル（.ZMA）が作成されています。

12 作成されたバックアップファイル（.ZMA）を、別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存します。

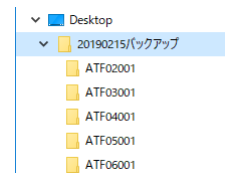


## 補足 個別にマスタをバックアップするには

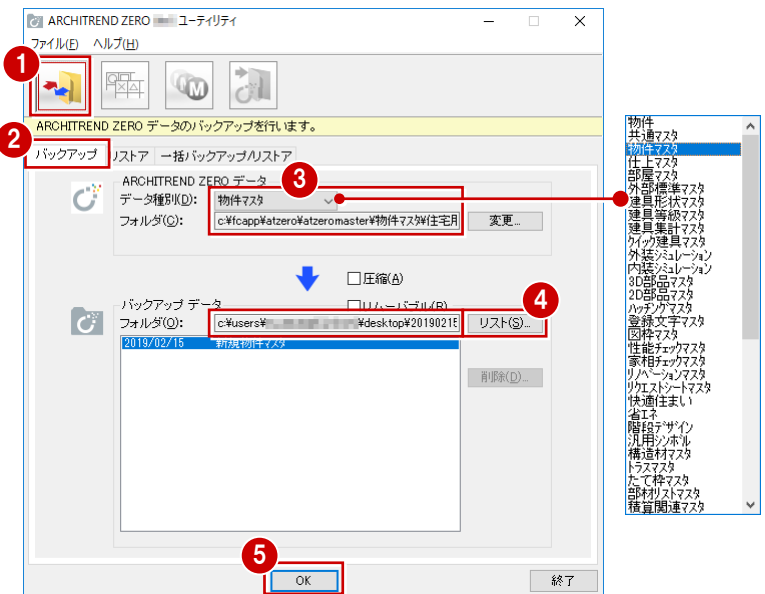
物件マスタのみをバックアップしたいというように、個別にマスタをバックアップする場合は、ユーティリティの「バックアップ」タブで行います。

この場合、指定した保存先に作成される「¥ATF?????」というフォルダにバックアップデータが保存されます。エクスプローラ等でこのフォルダ名を変更すると、リストアできなくなりますのでご注意ください。

保存先のフォルダを、別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存してください。



1,2 「バックアップ／リストア」の「バックアップ」タブが開いていることを確認します。

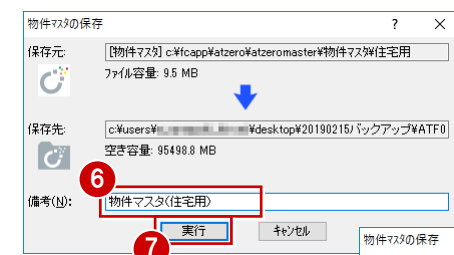


3 「データ種別」でマスタ（ここでは「物件マスタ」）を選び、参照フォルダを確認します。

4 「リスト」をクリックして、バックアップ先のフォルダを指定します。  
ここでは、「デスクトップ(Desktop)」に新しいフォルダを作成し、フォルダ名をわかりやすい名称に変更しています。⇒ P.11 参照

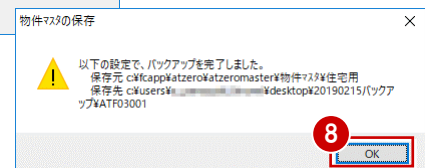
5 「OK」をクリックします。

6 「備考」を入力します。  
ここで入力した名称がリストア時に表示されるので、識別しやすいように変更しておきます。



7 「実行」をクリックすると、処理が始まります。

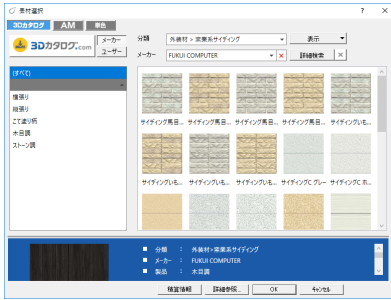
8 完了の確認画面で「OK」をクリックします。  
続けて、他のマスタをバックアップします。



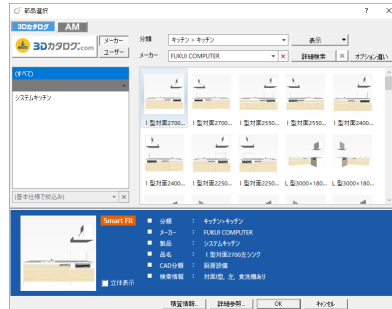
# 4

# 3D カタログマスタ

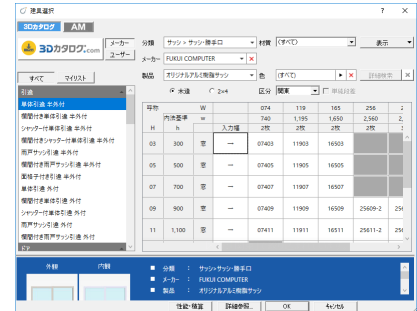
ZEROで使用している3Dカタログの素材、部品、建具データをバックアップします。



【素材】



【部品】



【建具】

1 2 3D カタログマスタを起動して、「共通」にある「バックアップ」をクリックします。

3 「マスタ種類」でバックアップの対象（ここでは「【共通】外装仕上・内装仕上」）を選びます。

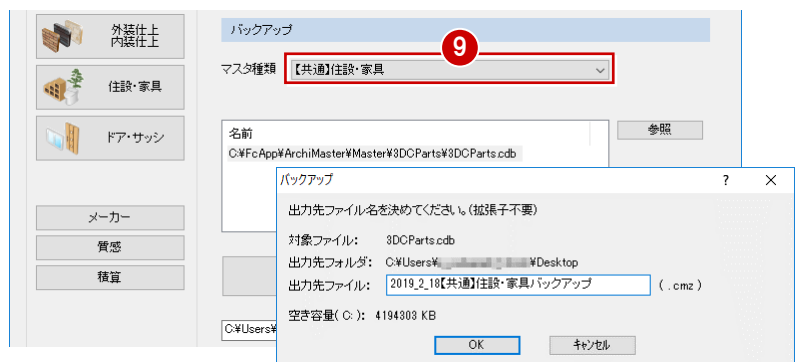
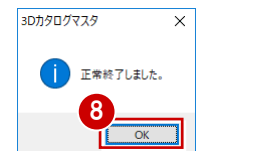
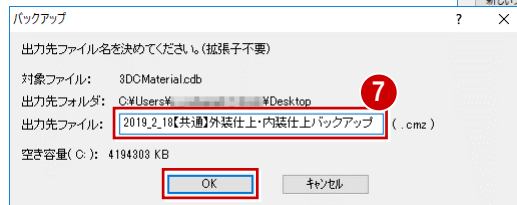
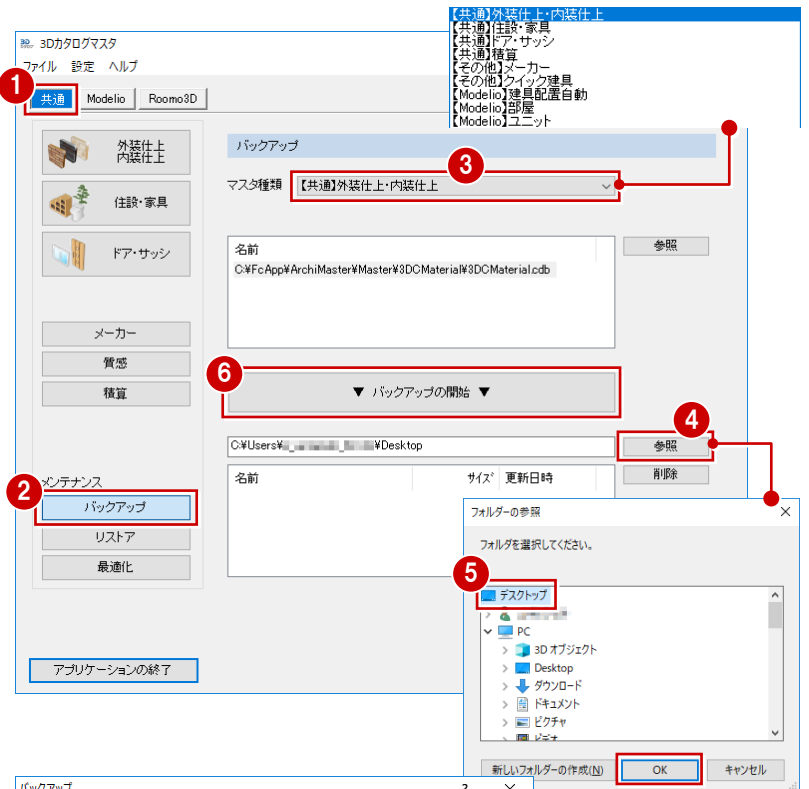
4 5 「参照」をクリックして、バックアップファイルを保存する場所を指定します。ここでは、「デスクトップ」を選んで「OK」をクリックします。

6 「▼ バックアップの開始 ▼」をクリックします。

7 バックアップファイルの名前を確認して、「OK」をクリックします。処理が始まります。

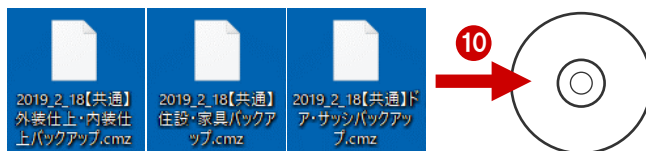
8 完了の確認画面で「OK」をクリックします。デスクトップにバックアップファイル（.cmz）が作成されています。

9 バックアップの対象を切り替えて、同様な手順で他のマスタをバックアップします。





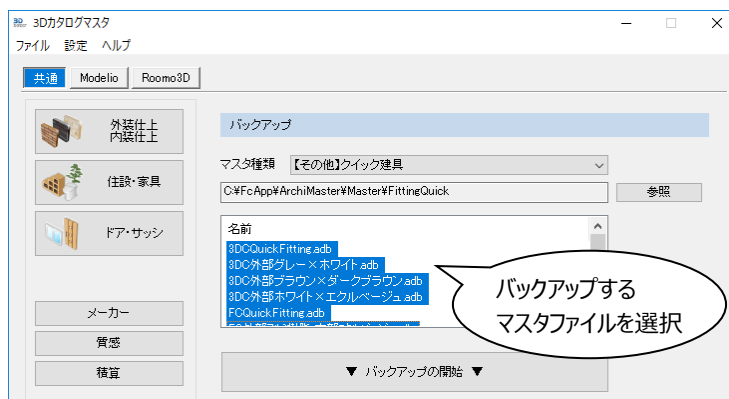
- 10 作成されたバックアップファイル (.cmz) を、別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存します。



### マスタファイルが複数ある場合

複数のマスタファイルが存在する場合は、一覧からバックアップするマスタファイルを選択します。

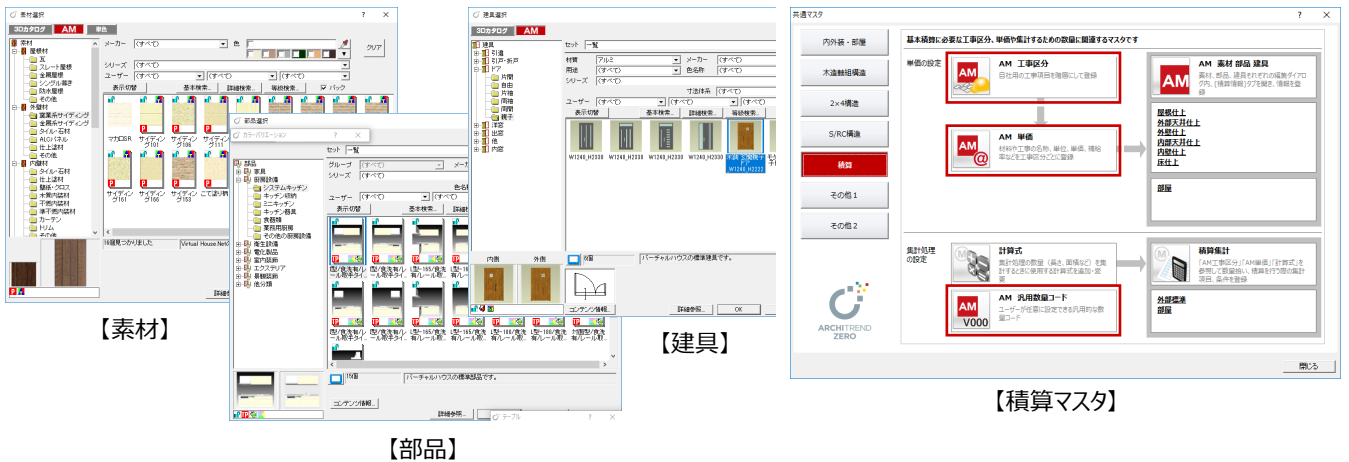
CtrlキーまたはShiftキーを押しながらクリックすると複数選択できます。



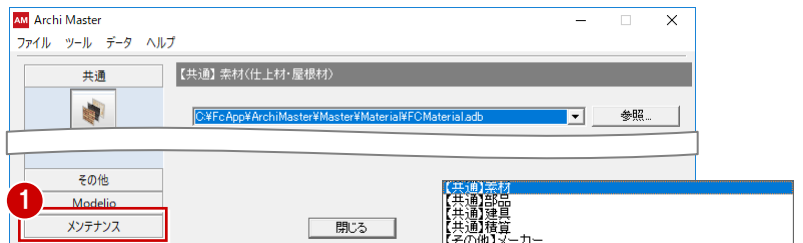
# 5

# Archi Master

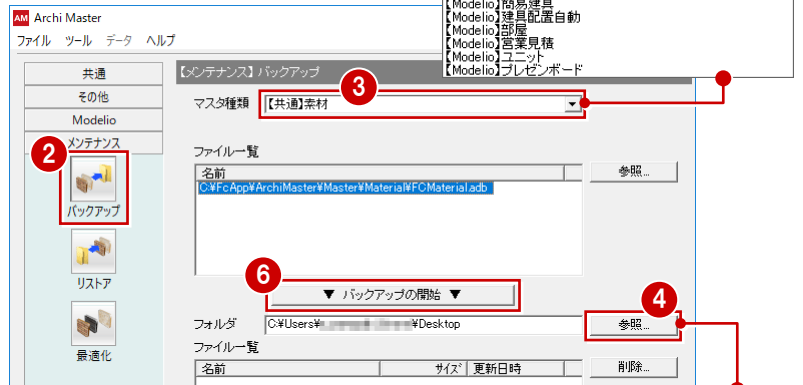
ZEROで使用しているArchi Masterの素材、部品、建具データや、積算マスタなどをバックアップします。



1 Archi Master を起動して、「メンテナンス」をクリックします。

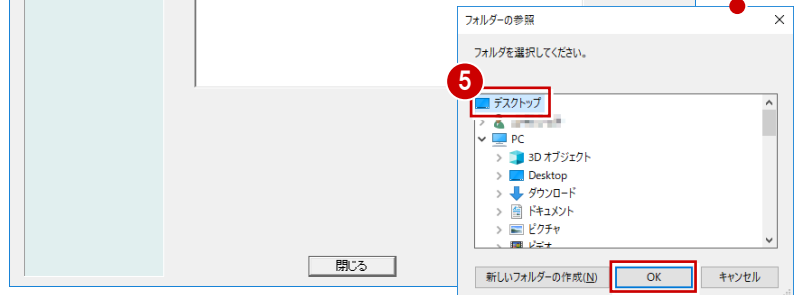


2 「バックアップ」をクリックします。



3 「マスタ種類」でバックアップの対象（ここでは「【共通】素材」）を選びます。

4 5 「参照」をクリックして、バックアップファイルを保存する場所を指定します。ここでは、「デスクトップ」を選んで「OK」をクリックします。



6 「▼ バックアップの開始 ▼」をクリックします。

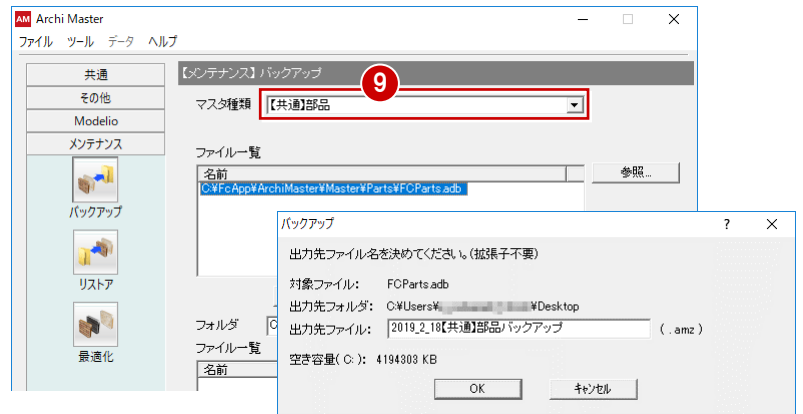
7 バックアップファイルの名前を確認して、「OK」をクリックします。処理が始まります。



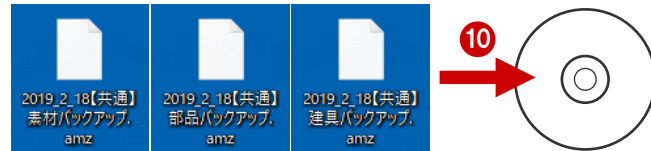
8 完了の確認画面で「OK」をクリックします。デスクトップにバックアップファイル (.amz) が作成されています。



- 9 バックアップの対象を切り替えて、同様な手順で他のマスタをバックアップします。



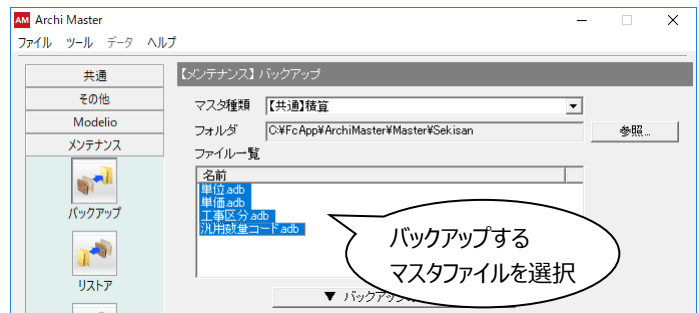
- 10 作成されたバックアップファイル (.amz) を、別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存します。



### マスタファイルが複数ある場合

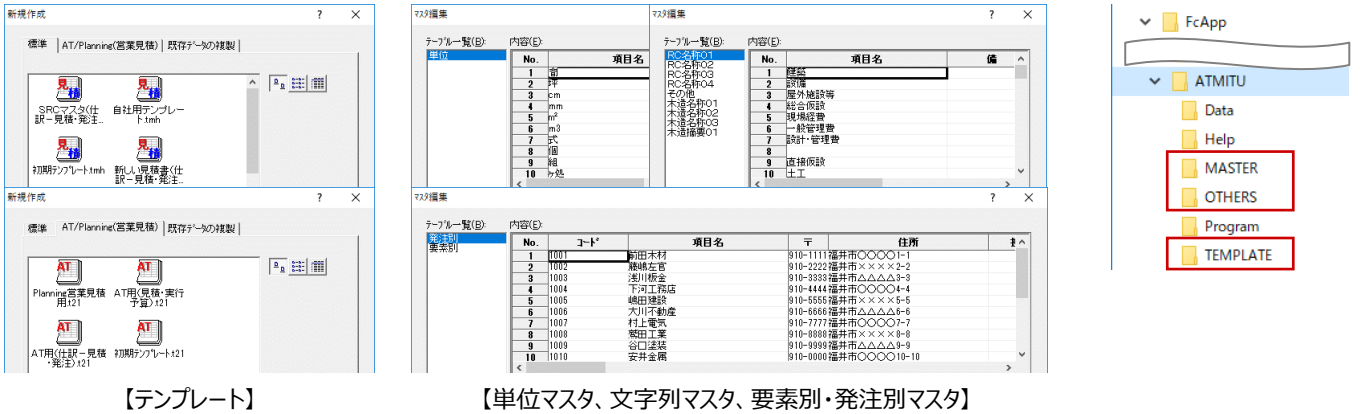
複数のマスタファイルが存在する場合は、一覧からバックアップするマスタファイルを選択します。

CtrlキーまたはShiftキーを押しながらクリックすると複数選択できます。



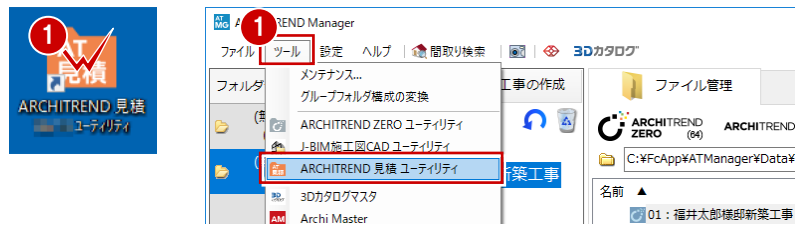
## 6-1 テンプレートやマスタをバックアップする

ARCHITREND 見積（以降、AT見積）で使用しているテンプレートやマスタなどをバックアップします。ここでは、ユーティリティを使った操作を解説しますが、エクスプローラ等でフォルダをコピーしても構いません。



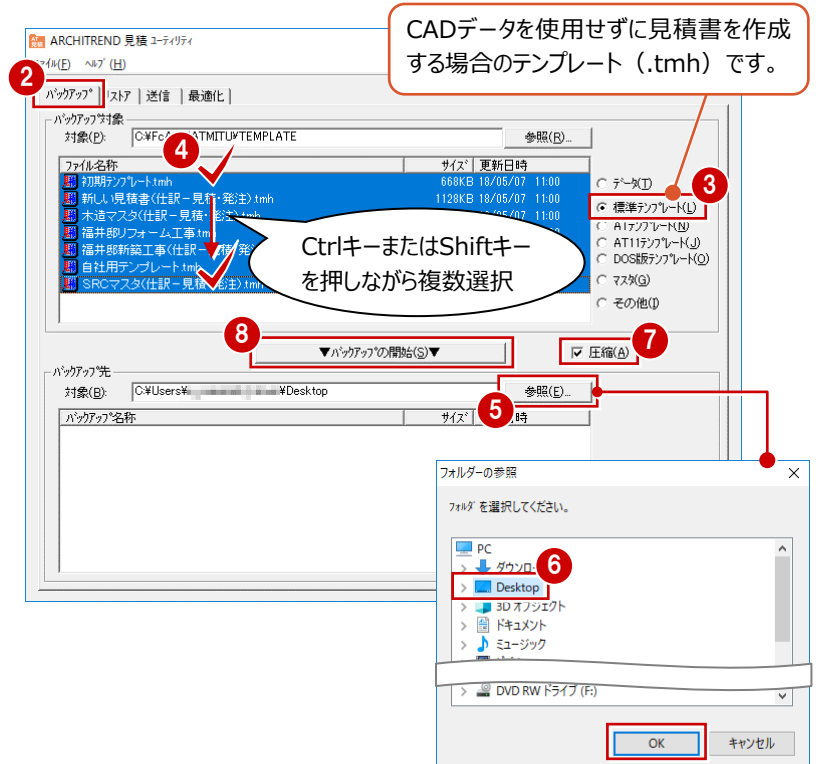
- 1 デスクトップのアイコンをダブルクリック、または、Manager の「ツール」メニューから、AT 見積のユーティリティを起動します。

※ スタートボタンから「FukuiComputerApplication」の「ARCHITREND 見積 ユーティリティ」を選んで起動することもできます。

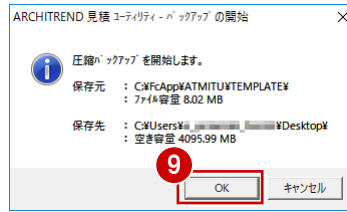


ユーティリティは、AT見積と同時に起動できません。  
AT見積を終了してからユーティリティを起動してください。

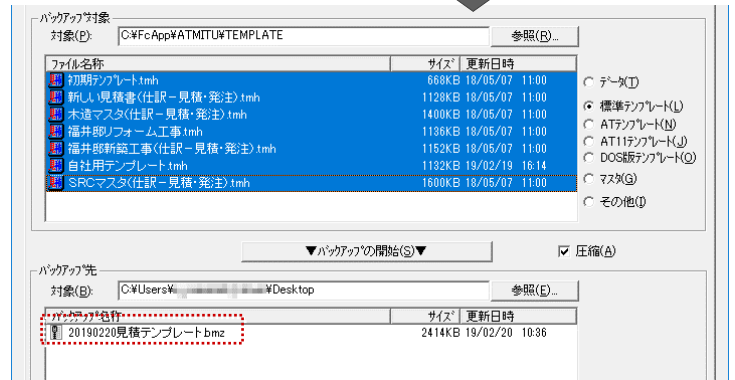
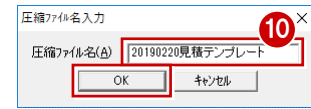
- 2 「バックアップ」タブが開いていることを確認します。
- 3 「バックアップ対象」を「標準テンプレート」に変更します。
- 4 バックアップするテンプレートを選びます。  
CtrlキーまたはShiftキーを押しながらクリックすると複数選択できます。
- 5 6 「バックアップ先」の「参照」をクリックして、バックアップファイルを保存する場所を指定します。  
ここでは、「デスクトップ(Desktop)」を選んで、「OK」をクリックします。
- 7 「圧縮」にチェックを付けます。
- 8 「▼バックアップの開始▼」をクリックします。



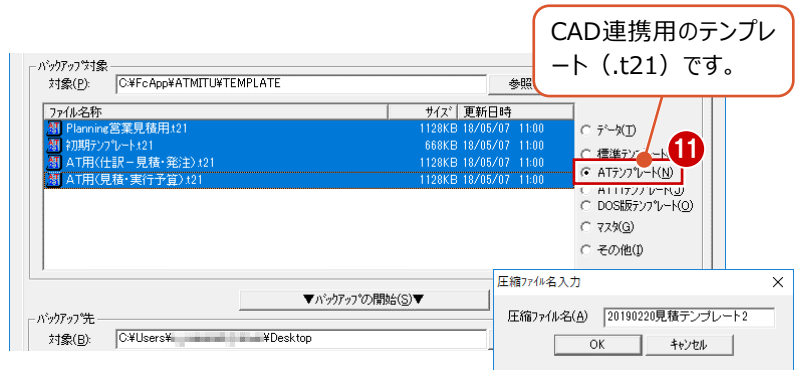
9 確認画面で「OK」をクリックします。



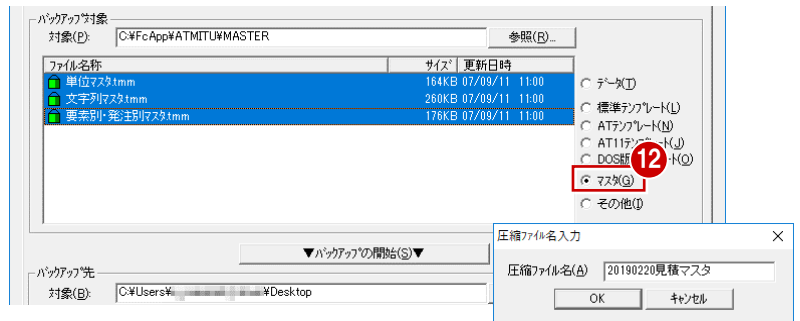
10 バックアップファイルの名前を入力して、「OK」をクリックします。  
処理が始まり、デスクトップにバックアップファイル (.bmz) が作成されます。



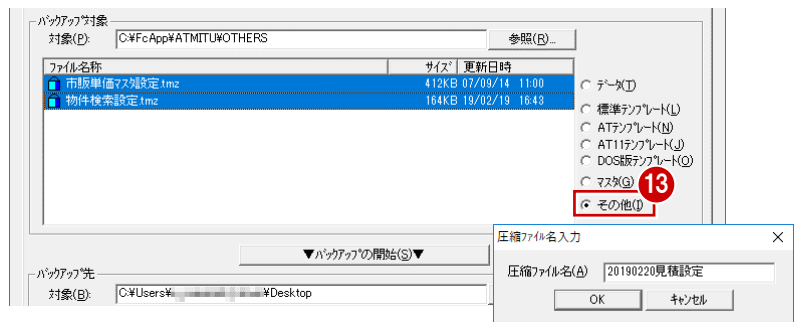
11 「バックアップ対象」を「AT テンプレート」に変更して、同様な手順でバックアップします。



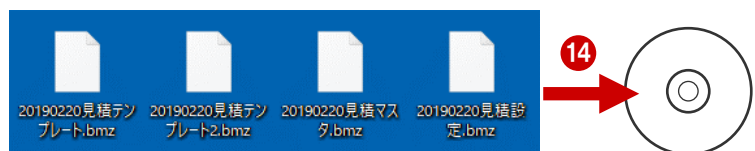
12 「バックアップ対象」を「マスタ」に変更して、同様な手順でバックアップします。



13 「バックアップ対象」を「その他」に変更して、同様な手順でバックアップします。



14 作成されたバックアップファイル (.bmz) を、別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存します。



## 6-2 見積書データをバックアップする

AT見積を単独で起動している場合や、ZEROで物件データを管理している場合は、見積書データ（.tmd）もバックアップする必要があります。

※ ManagerでZEROの物件データを管理している場合は、Managerのデータフォルダ内に見積書データが格納されるため、個別にバックアップする必要はありません。

1 AT 見積のユーティリティを起動して、「バックアップ」タブが開いていることを確認します。

2 「バックアップ対象」を「データ」に変更します。

3 バックアップする見積書データを選びます。  
CtrlキーまたはShiftキーを押しながらクリックすると複数選択できます。

4 バックアップファイルを保存する場所（ここでは「デスクトップ(Desktop)」）を指定します。

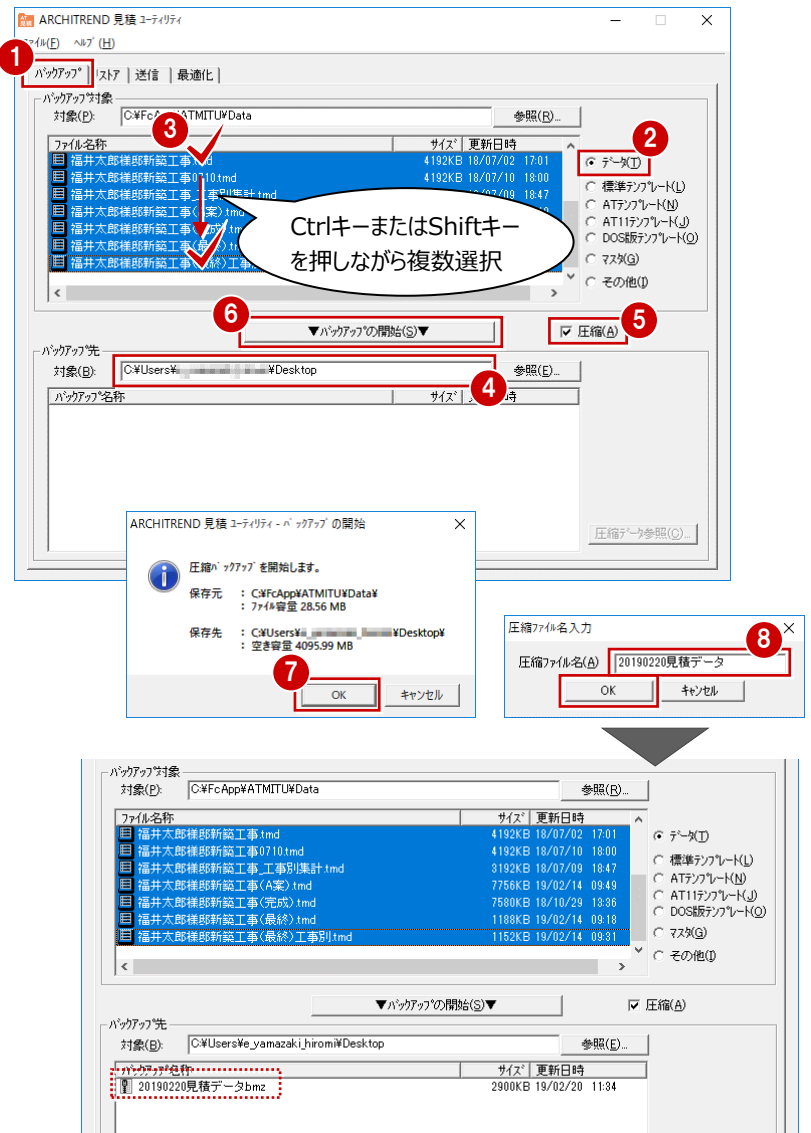
5 「圧縮」にチェックを付けます。

6 「▼バックアップの開始▼」をクリックします。

7 確認画面で「OK」をクリックします。

8 バックアップファイルの名前を入力して、「OK」をクリックします。  
処理が始まり、デスクトップにバックアップファイル（.bmz）が作成されます。

9 作成されたバックアップファイル（.bmz）を、別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存します。

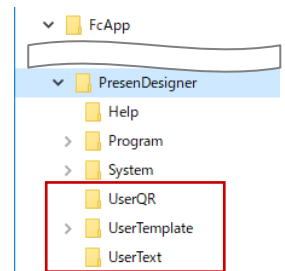


# 7

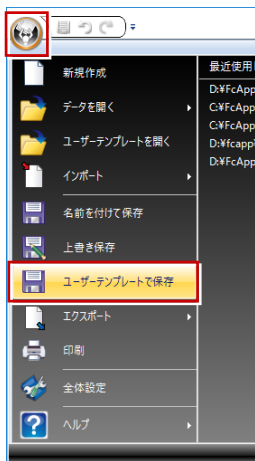
# ARCHITREND プレゼンデザイナー

プレゼンデザイナーで登録したユーザーテンプレートや、QRコード・定型文のお気に入りには、バックアップが必要です。

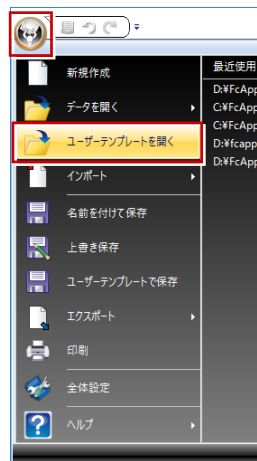
バックアップ用のツールは用意されていないので、エクスプローラ等でコピーしてください。



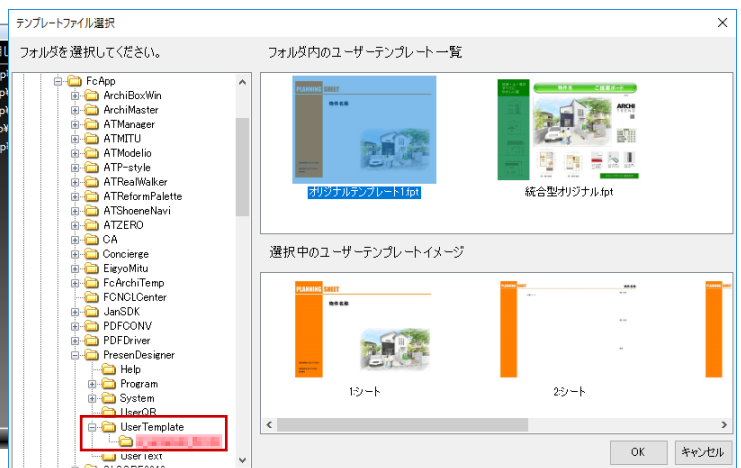
## ユーザーテンプレート (通常 C:\%FcApp%\PresenDesigner\UserTemplate\ユーザーアカウント名のフォルダ)



【登録時】



【使用時】

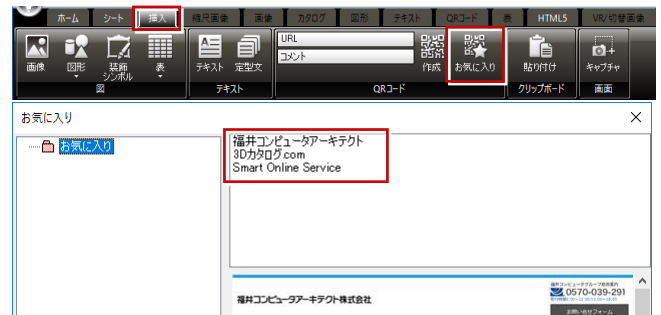


## QRコードのお気に入り (通常 C:\%FcApp%\PresenDesigner\UserQR)



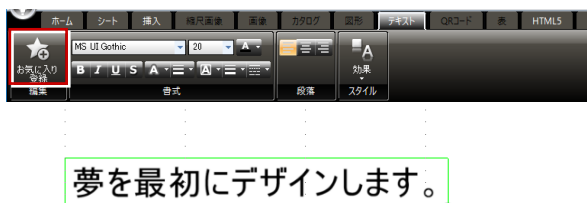
※ 入力したQRコードを選択して「お気に入り登録」したものです。

【登録時】



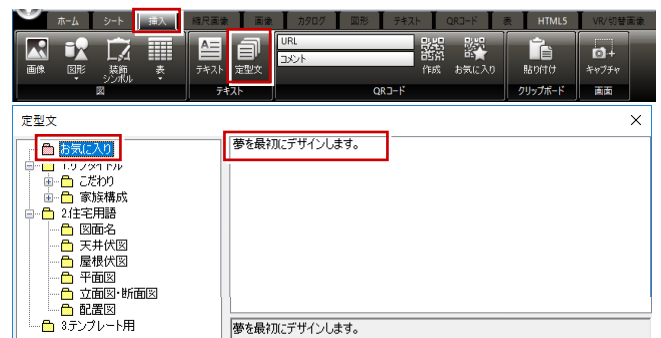
【入力時】

## 定型文のお気に入り (通常 C:\%FcApp%\PresenDesigner\UserText)



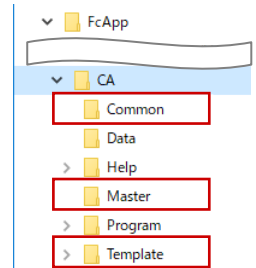
※ 入力したテキストを選択して「お気に入り登録」した文章です。

【登録時】

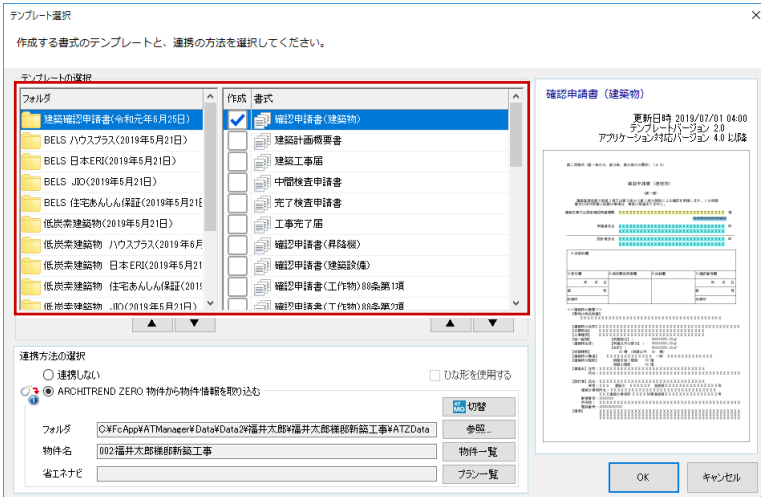


【入力時】

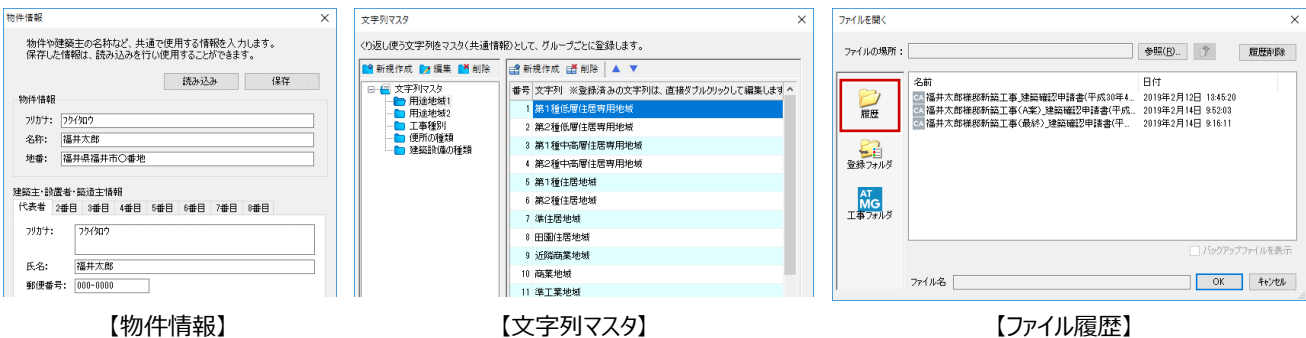
TREND CAで使用しているテンプレート、共通設定、マスタなどは、バックアップが必要です。バックアップ用のツールは用意されていないので、エクスプローラ等でコピーしてください。



## テンプレート (通常 C:¥FcApp¥CA¥Template)



## 共通設定 (通常 C:¥FcApp¥CA¥Common)



【物件情報】

【文字列マスタ】

【ファイル履歴】

## マスタ (通常 C:¥FcApp¥CA¥Master)

※ テンプレートの新規作成時に内部ファイルとして合体するほか、テンプレート編集の「ツール」タブの「編集」や、コントロールのプロパティ（マスタデータ連携）で使用しています。

